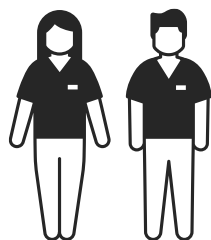
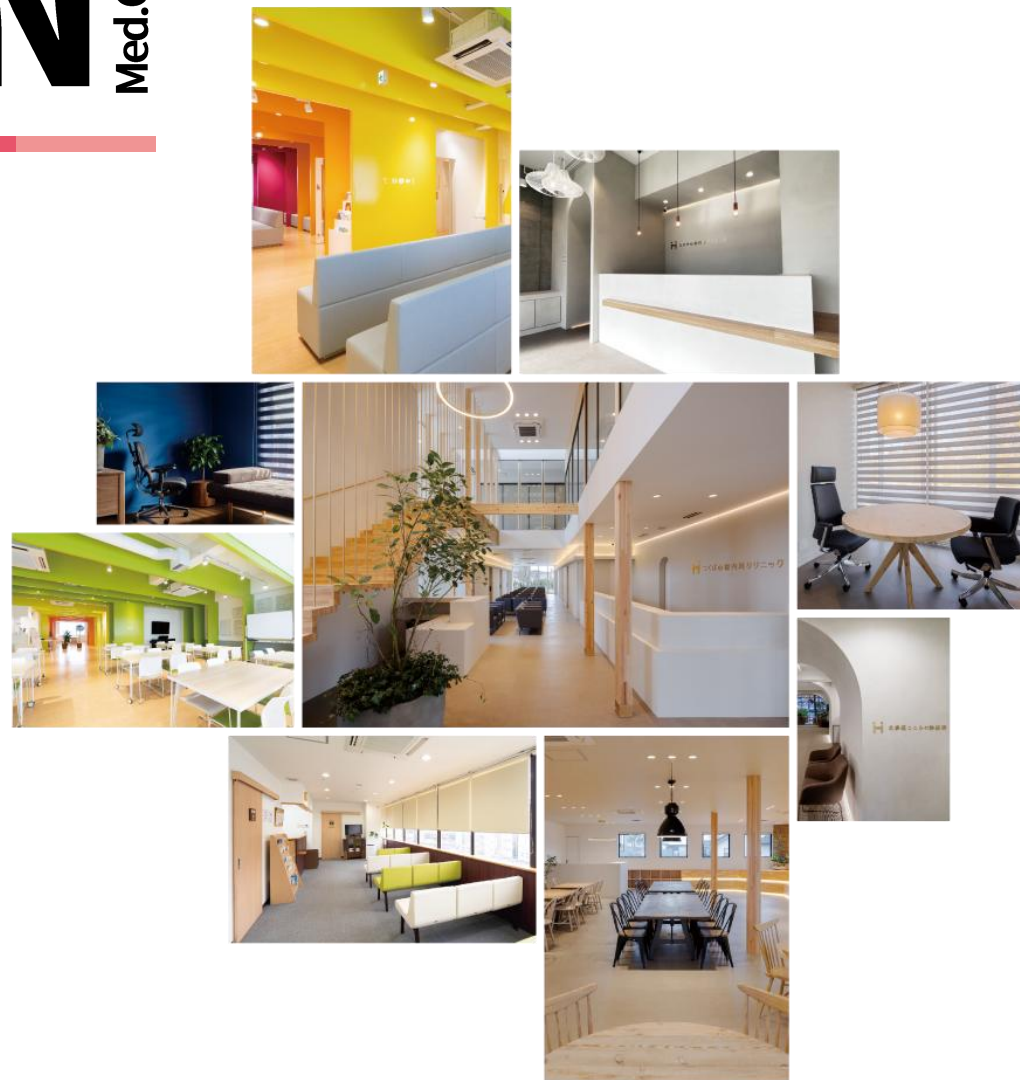


EPSYLON^{Med.Corp}

年次報告資料

ANNUAL REPORT 2024



代表挨拶

TOP MESSAGE

次の10年へ 変化に挑戦し続ける医療法人



高尾 哲也

医療法人イプシロン 理事長
公益社団法人 日本精神神経科診療所協会 常任理事
日本精神神経科診療所医師連盟 執行役員兼会計責任者
茨城県精神神経科診療所協会 前会長
一般社団法人 水戸市医師会
理事
産業医部会長
一般社団法人 茨城県医師会 産業医委員会
公益社団法人 日本精神神経学会
評議員
医療経済委員会委員
医療DXに関する委員会委員
多職種協働委員会委員
一般社団法人 茨城県メディカルセンター
産業・学校保健委員会委員
茨城県産業保健総合支援センター 嘱託委員

「こころ」の健康が、全ての人の幸福で充実した人生の礎です。
地域社会と近い場所でメンタルヘルス診療に関わりたい、患者さんに必要な時に待つことなく受診できるようにしたい。こういう思いから、2008年、私たちは茨城県水戸市で小さなメンタルクリニックを始めました。

一人院長として、押し寄せる患者さんの診療に寝食を忘れて取り組みましたが、私一人の小さな力ではとても地域社会のニーズに応えきれませんでした。すぐに受診が数ヶ月待ちとなる状況。目の前の患者だけ診て満足する近視眼ではいけない、「まだ見ぬ多くの患者さんの想いにもお応えしなければならない」と考えました。だからこそ、私たちは診療ブースを増やし、チーム医療を推進し、心理相談やデイセラピー、就労支援、訪問看護、企業産業医支援などの多岐にわたる医療サービスを増やして、ここまで一心に運営してきました。

こころの問題は複雑です。私たちは、Bio-Psycho-Socialの3つの視点で診療をおこなっています。すなわち、外来診療による医学的アプローチに加えて、心理的アプローチ、社会的アプローチです。症状回復のみならず、心理的な回復、社会的な回復を果して初めて、真のリカバリーに至る、私たちはそう考えます。

茨城県と東京都の9事業拠点から、常時10,000人超の患者さんのこころの健康に携わっています。

いかに診療サービスの質を担保しながら、幅広いこころの健康問題、地域メンタルヘルス課題に取り組むかを模索し続けています。

私たちの主たる活動の場である茨城県では、まだまだ「受診難民」ともいうべき方々がたくさんおられます。まず供給サイドの我たちが解決しなければならない問題と考えます。そのため、東西南北数百kmに及ぶ広い県域をカバーすべく、診療拠点を増やしています。

また同時に、多様な医療ニーズ、例えば、物忘れや依存症、周産期、統合失調症など従来クリニック領域ではフォローしなかった疾患ニーズについても、専門分化させていくべきと考えます。

さらには、より良い医療サービスを提供し、患者さんに安心と信頼を得るためには、人材採用ルートの安定化やスタッフ育成の仕組み、安心して働ける環境整備も推進する必要があります。

「こころの健康を全ての人に」の実現には道半ばですが、引き続き私たちイプシロングループは邁進してまいります。

法人理念 行動指針

PHILOSOPHY & GUIDELINES





法人理念

PHILOSOPHY

メンタルヘルス事業を通じて
地域No.1の安心と信頼を得る
人財成長する多機能型心療内科グループ

行動指針

GUIDELINES

- ✓ 「私たちの日常は患者さんにとっての非日常である」ことを意識して、患者さんの目線に立った誠実で思いやりのある診療を行います。
- ✓ 患者さんに質の高い医療を還元できるよう、医療人として常に自己研鑽・自己啓発をし続けます。
- ✓ 多職種が協力・助け合いながら、より成果の高い医療を行います。
- ✓ 既存のやり方に固着せず、常に前向きな姿勢で改善・革新に取り組みます。
- ✓ 自ら問題を提起し、新たな提案やチャレンジをし続けます。

精神医療の動向と イプシロン

TRENDS

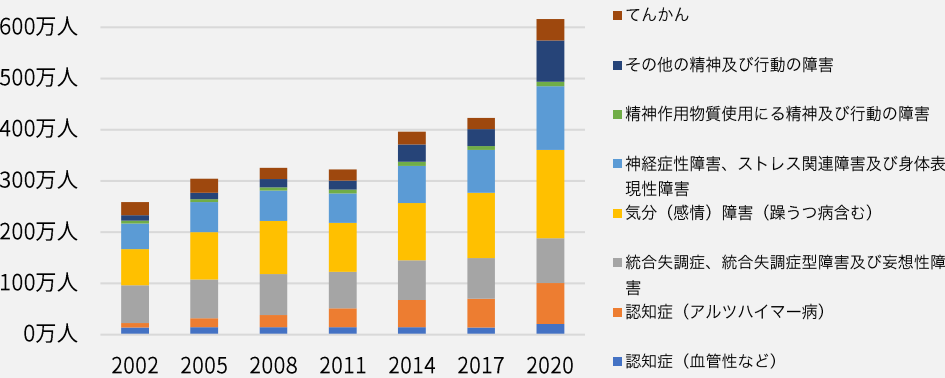


精神科医療の動向

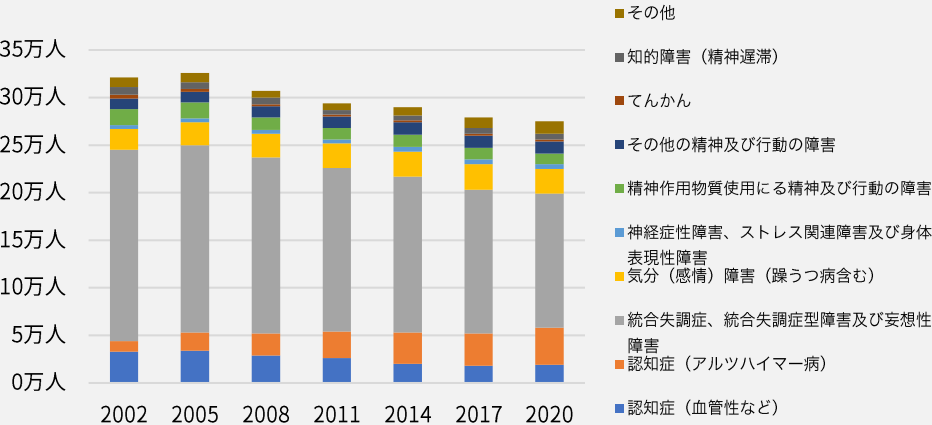
TRENDS

全国の精神疾患患者数は**642.2**万人（厚生労働省2020年調べ）

外来患者数614.8万人



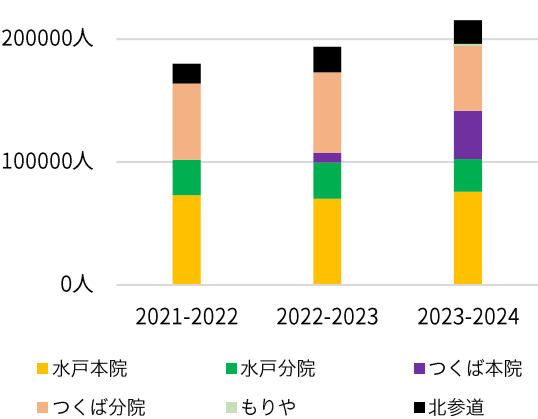
入院患者数27.4万人



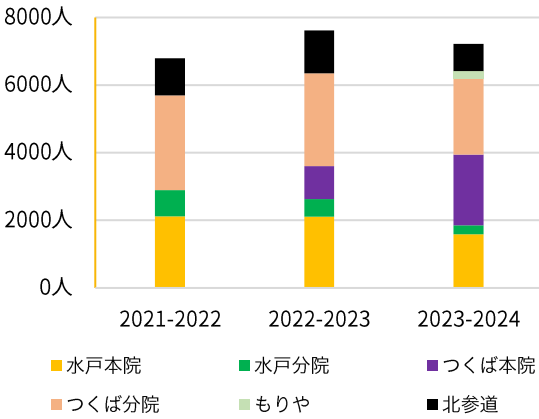
イプシロンの動向

EPSYLON'S TRENDS

総患者数



初診患者数



水戸エリア102,443人（初診1,857人） つくばエリア93,787人（初診4,559人） 北参道エリア19,070人（初診803人）
65歳以上が80% 就労者が75%

患者のICD10分類（2023年水戸メンタルクリニック）

F00-09	5名 (0.2%)	F50-59	2名 (0.1%)
F10-19	5名 (0.2%)	F60-69	2名 (0.1%)
F20-29	78名 (3.4%)	F70-79	5名 (0.2%)
F30-39	430名 (18.8%)	F80-89	59名 (2.6%)
F40-48	1592名 (69.6%)	F90-99	10名 (4.4%)

医療法人イプシロン 概要

OVERVIEW



沿革

DEVELOPMENT

2008年09月	水戸メンタルクリニック開院（水戸市宮町）
2014年07月	水戸メンタルクリニックを梅香に移転、既存クリニックは分院に変更
2016年09月	つくば心療内科クリニック開院（つくば市研究学園）
2018年07月	就労支援事業所ブルーム水戸梅香開所（水戸市梅香）
2020年01月	精神科訪問看護ステーションBAiKO開所（水戸市梅香）
2020年09月	就労支援事業所ブルーム水戸宮町開所（水戸市宮町）
2021年04月	北参道こころの診療所開院（渋谷区千駄ヶ谷）
2023年04月	つくば心療内科クリニック本院開所（つくば市遠東）既存クリニックは分院に変更
2024年06月	もりや心療内科クリニック開所
2024年11月	つくば分院を本院に統合、呼称をつくば心療内科クリニックに変更
2025年03月	知能発達検査室開所（つくば市遠東）

事業所

OFFICE

茨城県と東京都で**11**事業所を展開

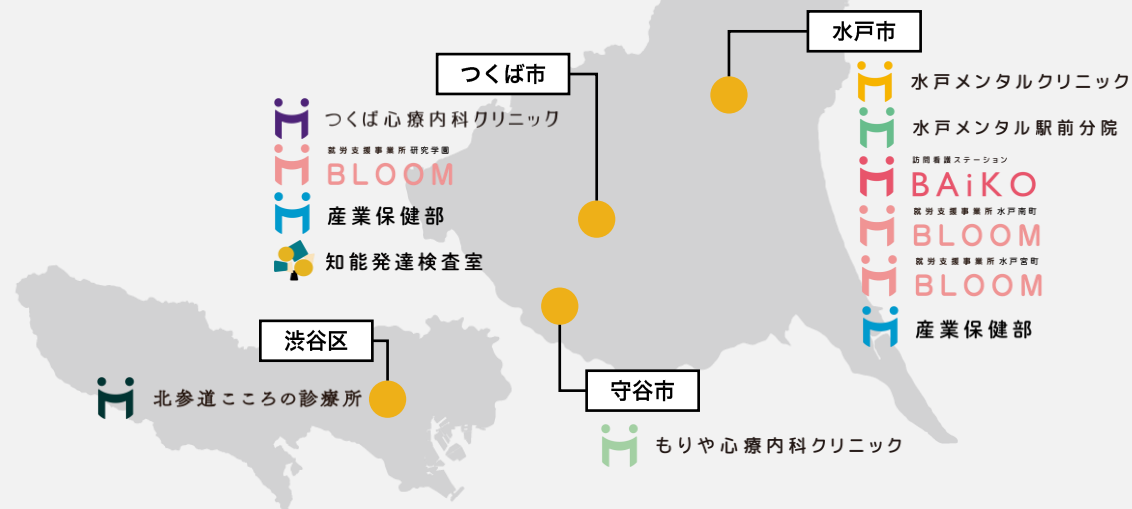
クリニック 5カ所

訪問看護 1カ所

就労支援 3カ所

産業保健 2カ所

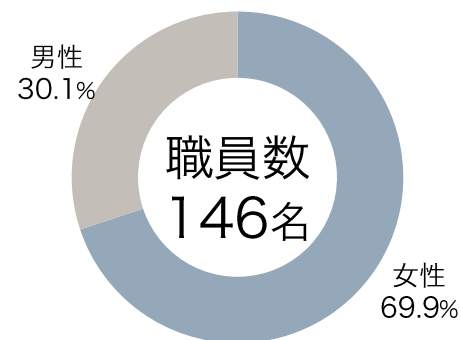
検査専門 1カ所



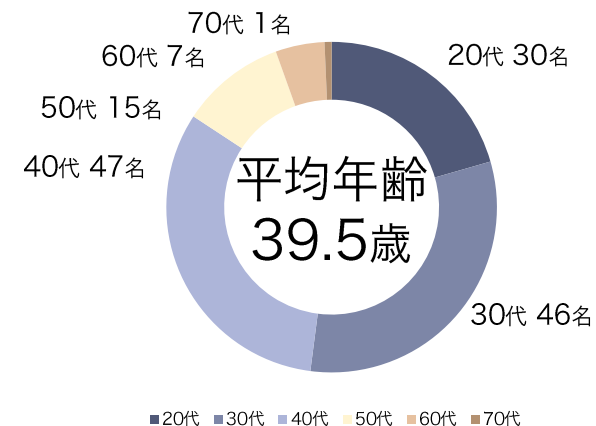
数字で見るイプシロン

EPSYLON IN FIGURES

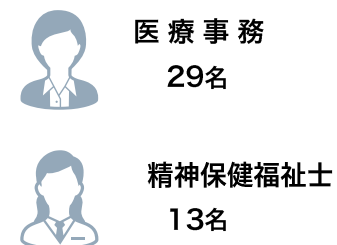
職員数 / 男女比



平均年齢 / 年代別人数



職種別人数



2024年12月時点

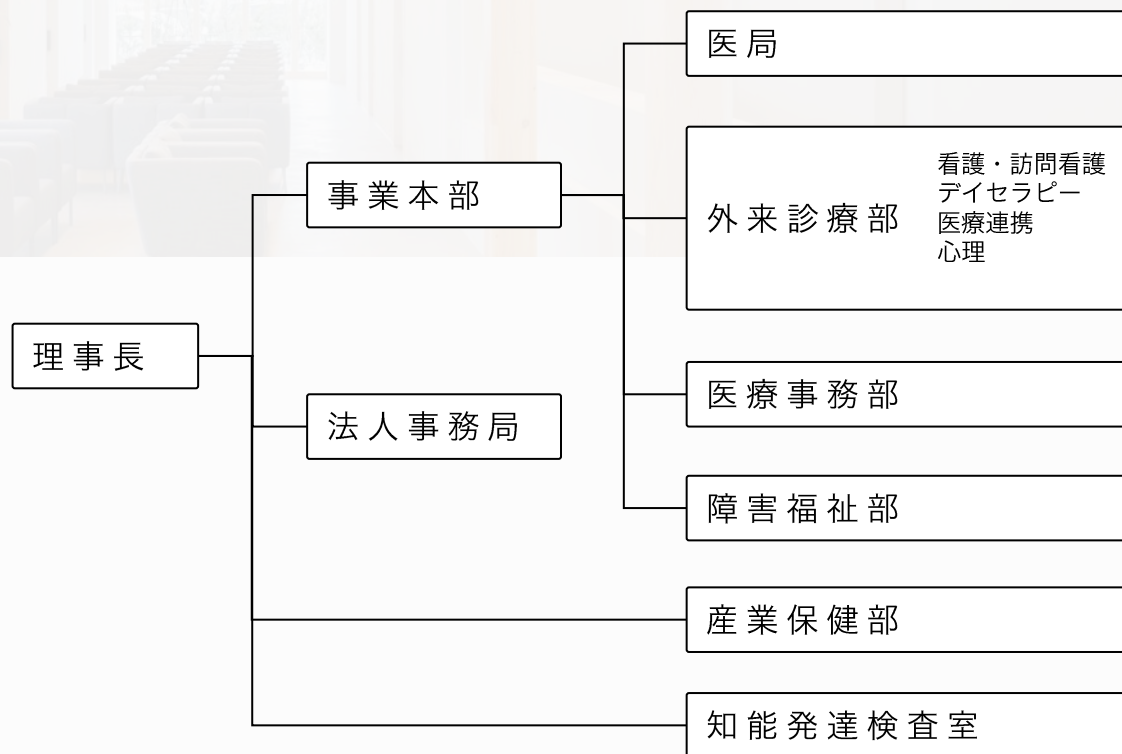
チームで支える

ORGANIZATION CHART

事業本部を中心に、法人の精神医療・障害福祉事業の患者満足度向上や事業の拡大など、根幹になる部分を運営しています。

外来診療部は、外来の職種をひとまとまりにし、医療連携がしやすい形にしています。外来の看護からデイケアや心理に情報連携をし、シームレスな医療を提供できるように整えています。

また病診連携の要になる医療連携もこの部署に位置し、すみやかな入院連携や初診の受付を実現しています。



チーム医療

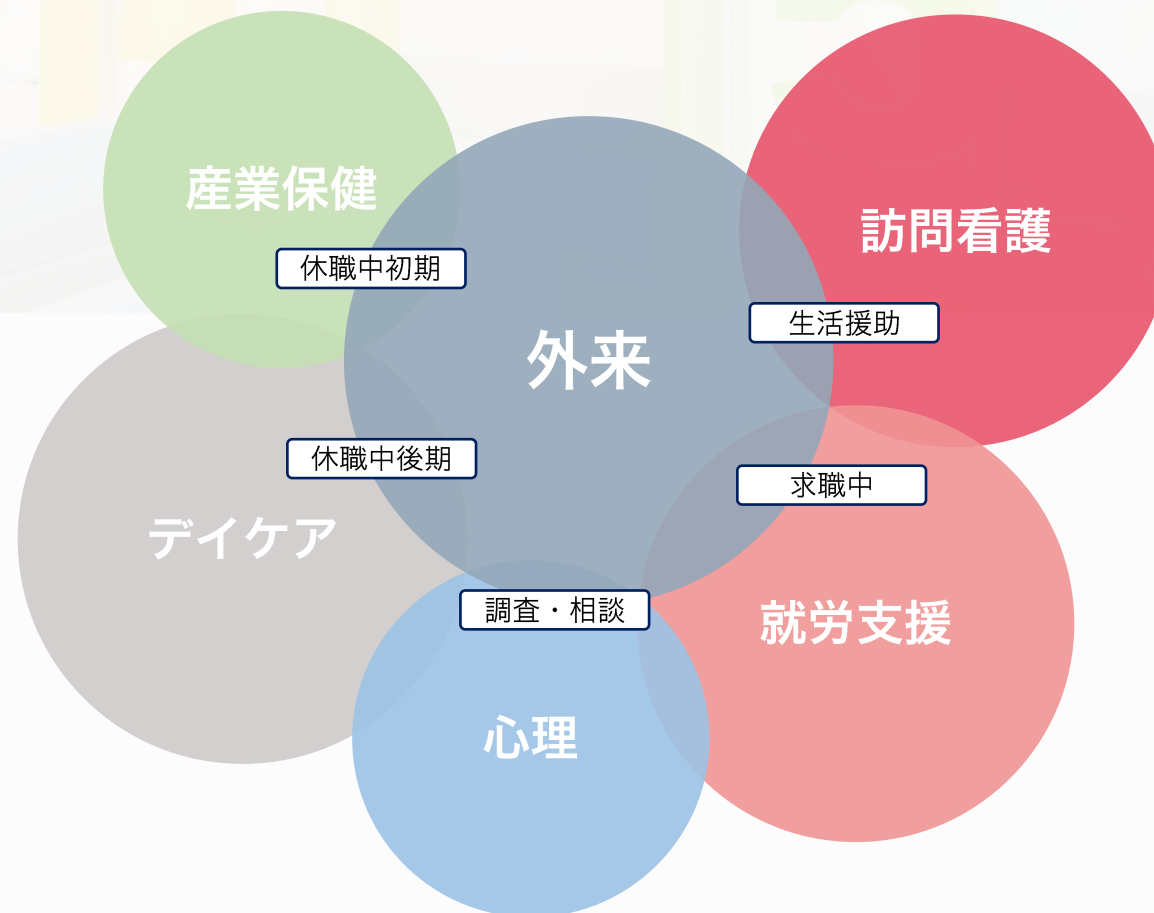
TEAM MEDICAL CARE

チーム医療とは、医師のみが単に外来診療を行うのではなく、専門職種が集い、様々な医療コンテンツを走らせながら、多職種の目で患者様と接することで、その患者様のこころの問題に横たわる諸問題の解決を図るためにあるのだと私たちは考えます。

医師は医師のみが出来ることに注力しつつ、それぞれの専門職や専門機能をもったコンテンツへのガイド役・橋渡し役にもなります。

単に症状の改善を目指すのではなく、診療チームの総合力で、患者さんの真のリカバリーを目指す。私たちはそういう目線を大事にしながら、日々の診療に取り組んでいます。

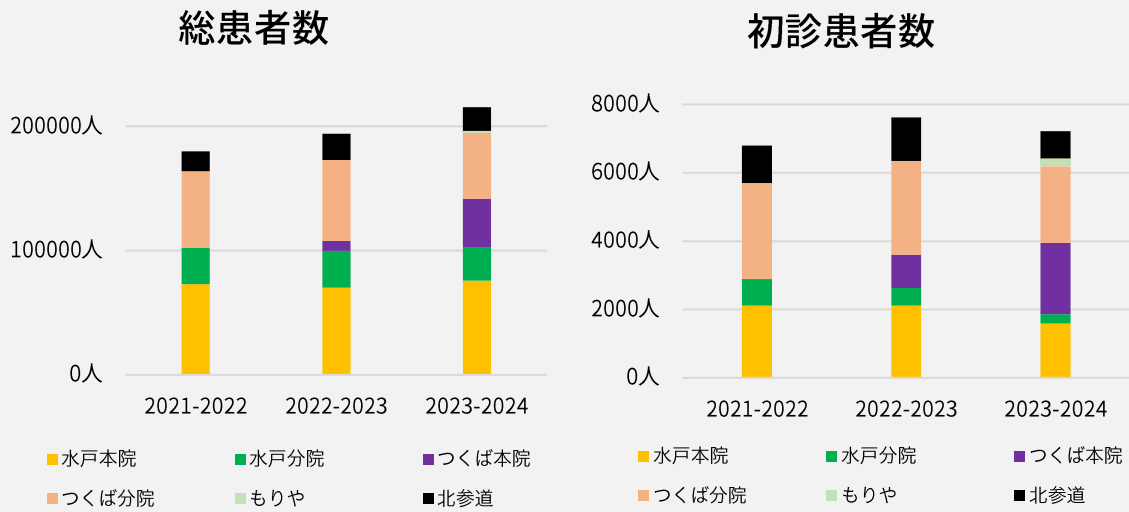
休職中の患者さんにデイケアの利用を薦め、リワークプログラムで状況改善をしたり、日常生活に悩みを抱えている患者さんには訪問看護を案内したりなど、患者さんの状況や特性に合わせた医療コンテンツへガイドすることで症状改善だけではなく社会復帰への橋渡しをしています。



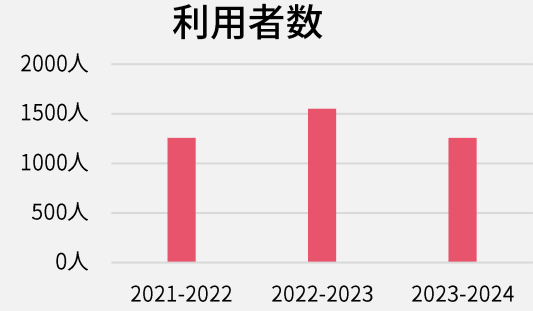
コンテンツの利用者数

NUMBER OF USERS

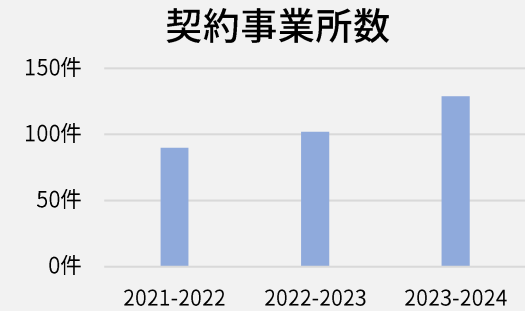
精神科外来



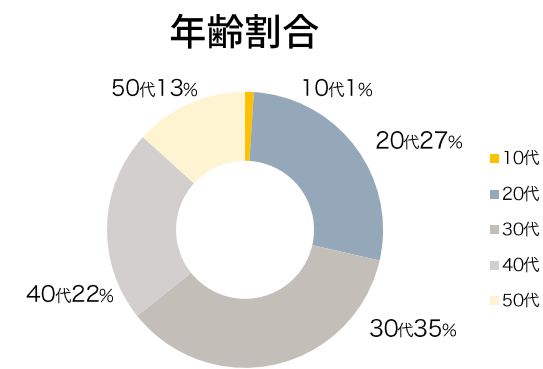
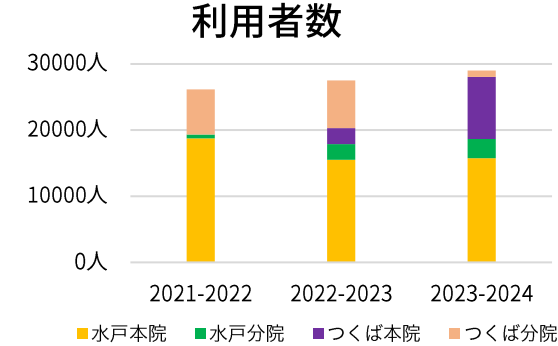
訪問看護



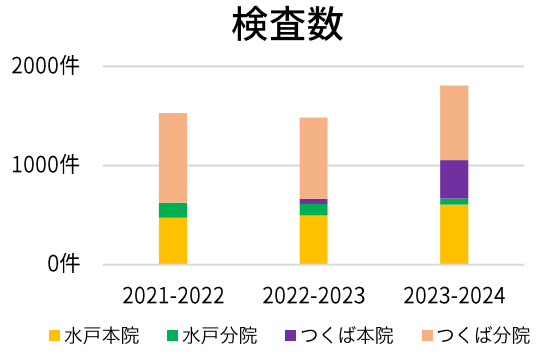
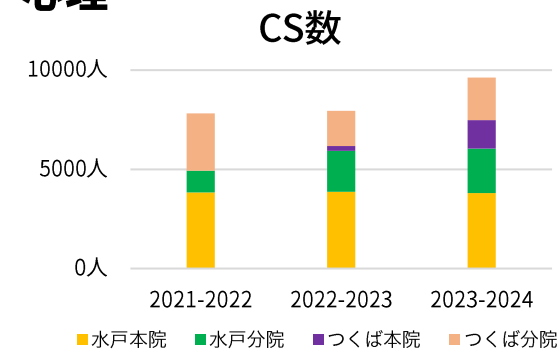
産業保健



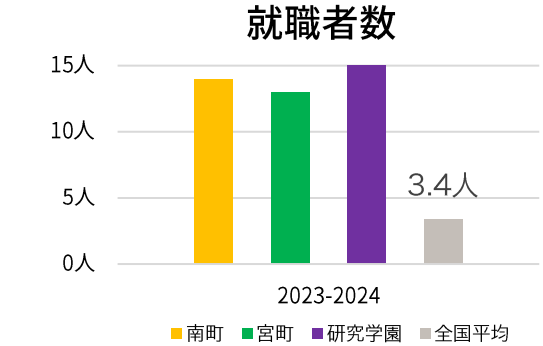
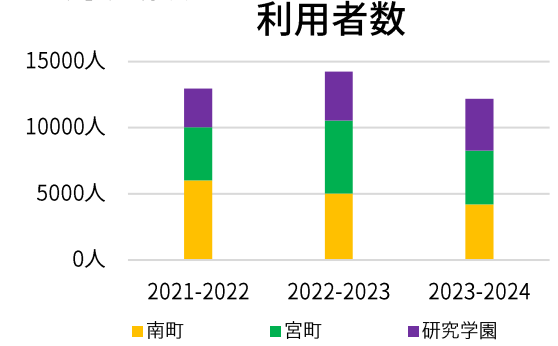
ダイケア



心理



就労支援



外来診療の力

OUTPATIENT TREATMENT

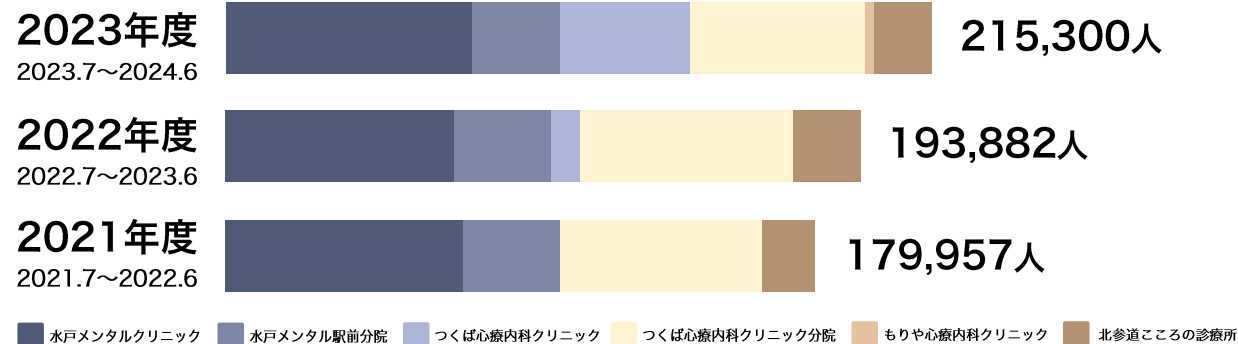
社会インフラとしての使命と責任



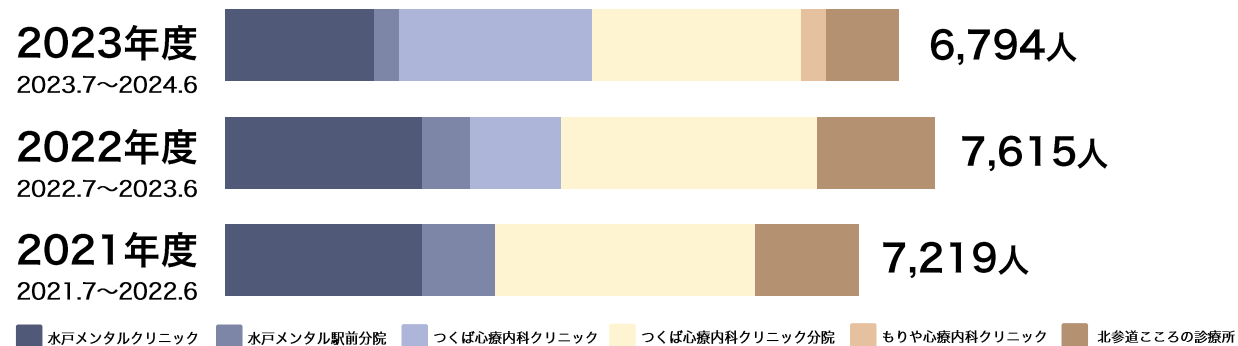
早期発見、早期治療の原則を持ち出すまでもなく、地域で受診を希望する方を可能な限り早く診察につなげる。それは身近な存在であるクリニックの社会的使命とも言えるものです。

一つ一つの診療を丁寧に積み上げ、地域での受診ニーズに応え続けた数字。とりわけ、年間の初診患者数が約6,800人であったことは、特筆に値するもので、これこそがまさに、私たちが社会インフラとして地域で存在する価値証明と考えます。

延べ受診者数（年間）



初診患者受入数（年間）



初診患者満足度調査（10点満点評価） 2023.7~2024.6の期間の平均

水戸メンタルクリニック	7.36	つくば心療内科クリニック分院	7.91
水戸メンタル駅前分院	8.50	もりや心療内科クリニック	8.29
つくば心療内科クリニック	8.27	北参道こころの診療所	7.65

デイケアの力

PSYCHIATRIC DAYCARE

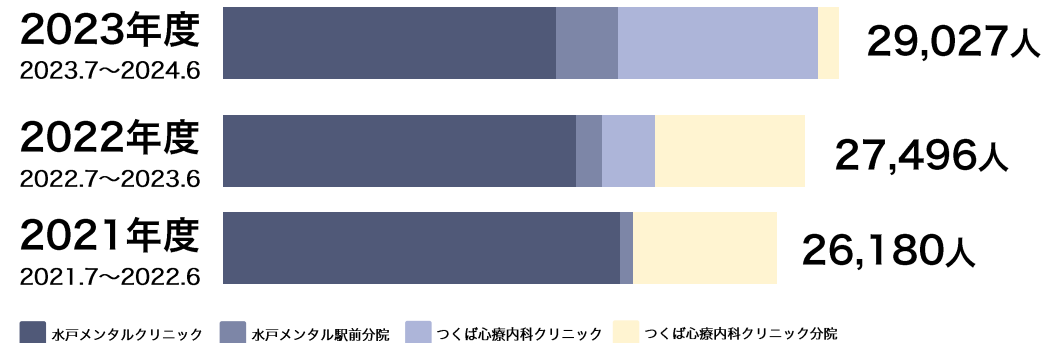
人それぞれの生き方を支援する



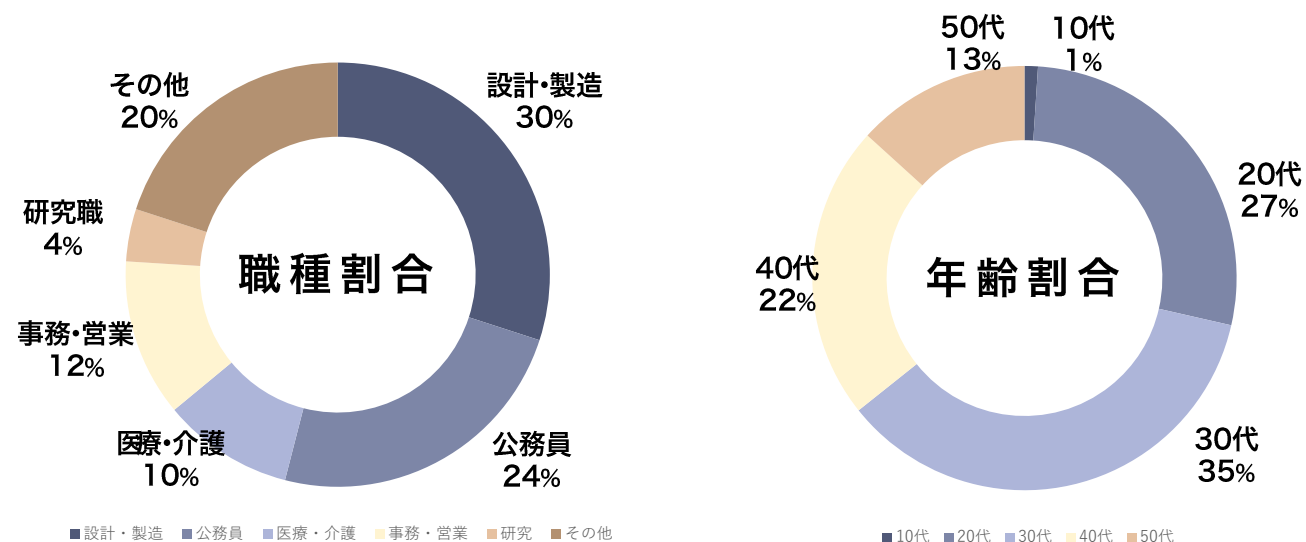
集団で行う社会機能回復の治療プログラムのことを、診療報酬算定においては「精神科大規模デイケア」と呼ばれています。私たちは、この集団治療プログラムをデイセラピーと呼びます。すなわち、患者さんが主体的に治療に参加し、医療者はそれをサポート、ファシリテートしていくという意志の現れです。

デイセラピーとは、同じ疾患構造、同じ目的を志向したメンバーが集い、集団的に社会機能不全や心理的困難性からの回復を目指すもの。例えばうつ病の方が休職からの安定復帰を目指すリワークプログラムが代表的です。

延べ利用者数（年間）



利用者属性



訪問看護の力

VISITING NURSING

地域社会の患者様に寄り添う医療提供

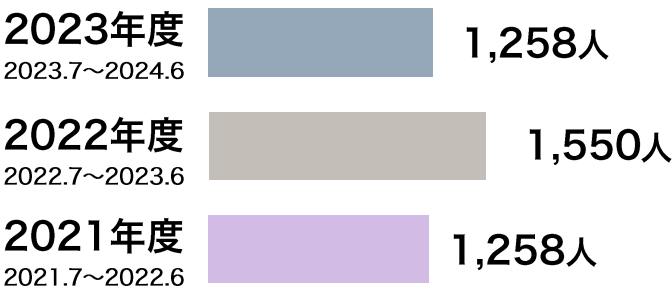


精神科訪問看護ステーションBAiKOは、水戸メンタルクリニックがある水戸市を対象エリアとしています。

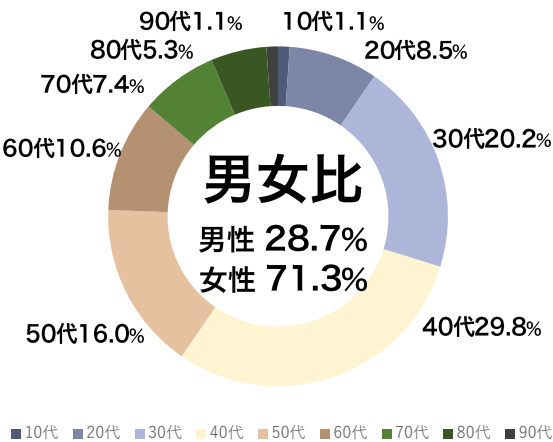
精神疾患のある方もしくは心のケアが必要な方に対して、看護師が直接自宅へ訪問し、病状の管理から正しい日常生活を送るためのサポートまでトータルの支援を行っています。

精神科訪問看護は、病状の観察・服薬管理・日常生活援助などを行い、利用者一人ひとりが自分らしい満足した生活を送るための長期的視点をもつ営みです。

延べ利用者数（年間）



利用者属性



傷病	割合
うつ病	16.1%
統合失調症	12.9%
発達障害	8.6%
注意欠陥多動性障害	8.6%
不安障害	8.6%
双極性障害	8.6%
自閉症スペクトラム症	7.5%
神経発達症	5.4%
知的障害	5.4%
気分変調症	3.2%

傷病	割合
パニック障害	3.2%
PTSD	2.2%
糖尿病	2.2%
解離性障害	1.1%
強迫性障害	1.1%
認知症	1.1%
不眠症	1.1%
更年期症候群	1.1%
てんかん	1.1%
難聴	1.1%

臨床心理の力

CLINICAL PSYCHOLOGY

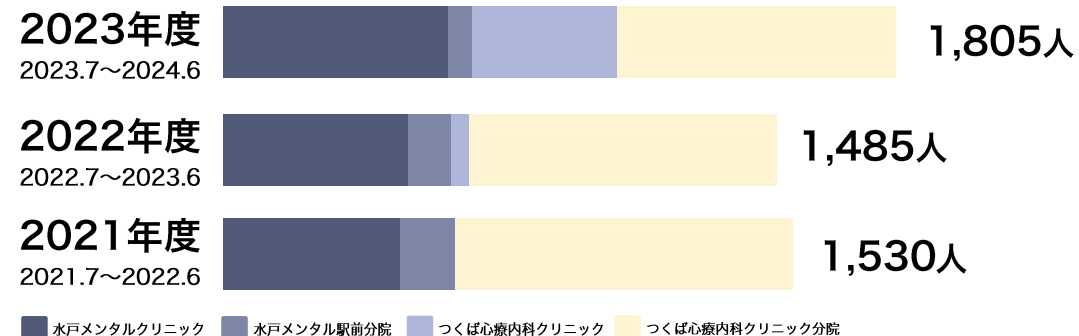
こころの回復を目指す、伴走する臨床心理



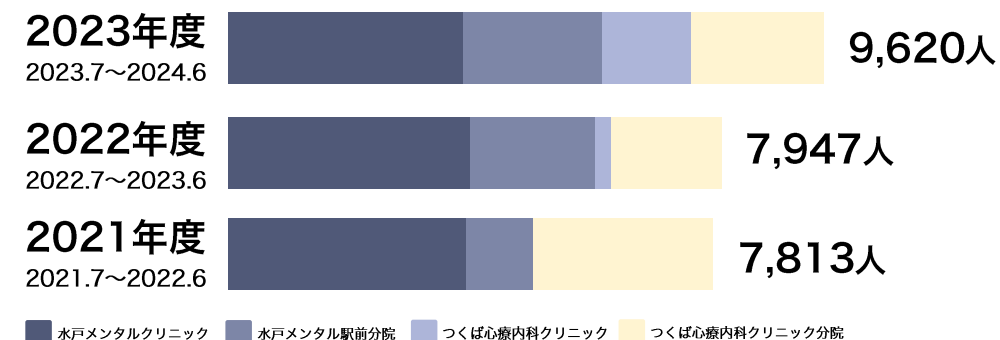
科学の一分野である精神医学と心理学は似ているようで異なります。大まかにいって、マスメディアから普遍の科学的事実を積み上げてEvidence-basedに臨床を行うのが精神医学に対して、1対1の心理相談を通じて心理的援助方法を実践的に経験的に、Narrative-basedにクライアントと向き合うのが心理学です。

私たちは、この精神医学と心理学を日常の診療場面で、常に補完し合いながら、患者さんのこころの健康づくりに取り組んでいます。

心理検査延べ利用者数（年間）



心理相談延べ利用者数（年間）



検査結果報告書 （サンプル）



就労支援の力

EMPLOYMENT ASSISTANCE

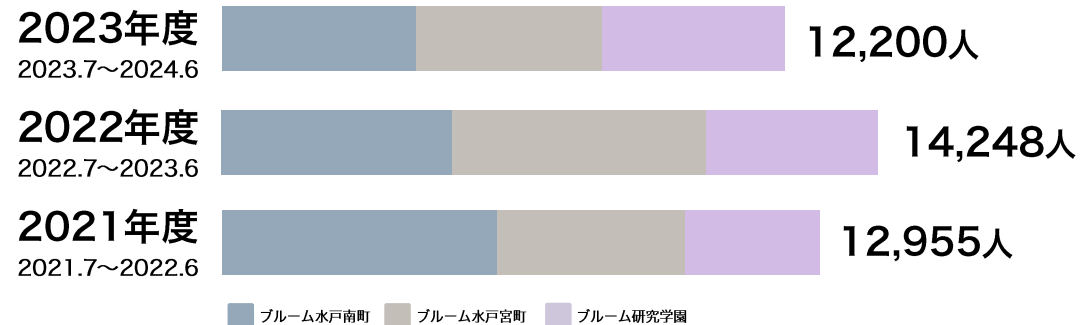
一人ひとりの特性に寄り添う支援



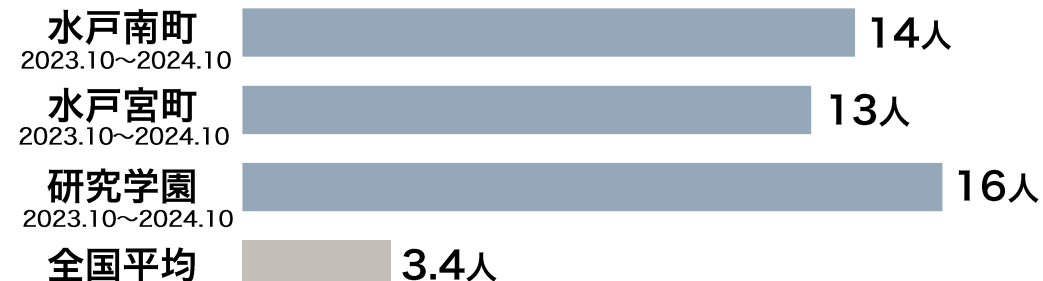
就職率の向上の為、多職種による面談に力をいれています。精神保健福祉士による面談をもとに、患者様の状況や特性を理解し、最適な訓練プログラムを提供していきます。看護師による体調管理や、就労支援員による就職情報の共有と企業訪問。訓練だけではなく就職活動のしやすさもブルームの特徴です。

精神障害をお持ちの方が平均14.3名、就職しています。また6か月間の定着率も平均84.6%と高水準を満たしております。全国で約4割の事業所が就職者が出ないという状況の中、母体が精神科クリニックだからこそ出来るきめ細やかなサポートが年間就職数の向上や定着率に寄与していると考えられます。

延べ利用者数（年間）



就職者数



厚生労働省「平成30年社会福祉施設等調査」より

6ヶ月定着率



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「障害者の就業状況等に関する調査研究」より

企業支援の力

INDUSTRIAL HEALTH

職場を支える企業メンタルヘルス

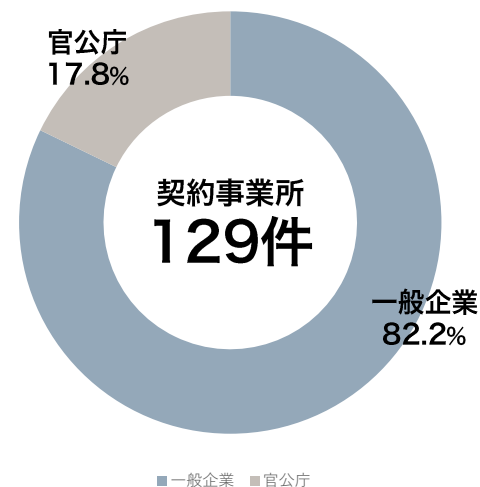


産業医の役割は、「継続就労できるように支援すること。個人の問題より仕事の問題を優先することが必要です。本人が職場や業務に適応できる状態かどうかの判断が重要と考えます。従業員の心身状態や働き方を確認して、このままの就労状態が問題ないかを適切に判断すること。それが出来るのは産業医しかいません。一般企業の人事労務の経験を活かしながら、産業医の知識や経験による最適な支援を行ってまいります。

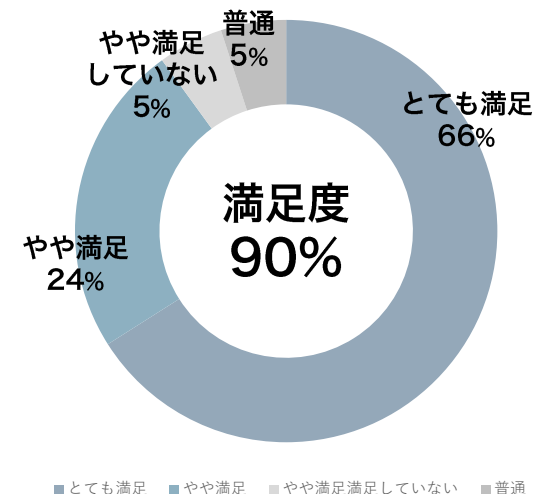
契約事業所数



契約先属性



顧客満足度



取り組み

INITIATIVES



デジタル施策

DIGITAL MEASURES

職員向け



連絡

LINEWORKS



出勤
退勤

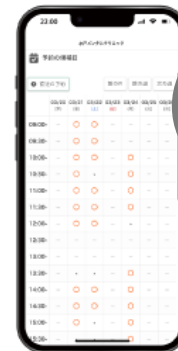
Officeステーション勤怠



届出
書類

Officeステーション労務

患者向け



予約

WEB予約



予約
変更

LINE連携リマインダー



お支
払い

自動精算機 (現金・キャッシュレス決済)

診療では、電子カルテとWEB予約システムを連携して運用しています。

またスタッフ向けに社内SNSや勤怠・労務のデジタルツールを導入、効率的なサポートが可能になっています。

人材採用プロセス

RECRUITMENT PROCESS

現場見学やカジュアル面談を取り入れ、『まず職場を肌で感じてみたい』に応え、間口を広く設けています。求職者と法人のマッチングを調査するため、ミキワメなどの適性検査ツールを導入し、お互いにとってよい形になるよう配慮をしています。求職者が法人を知る機会、法人が求職者を知る機会を大切にし人材の獲得に向けて試行錯誤を行っています。

応募・選考の流れ

WEBから申し込む

担当よりご連絡

書類選考

一次選考

二次選考

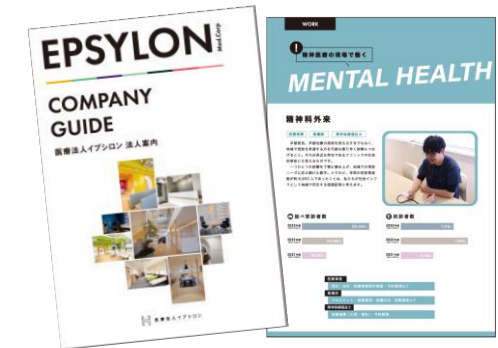
内定

求人の情報発信や採用フローなど、専門紹介会社だけに頼らない仕組みづくりにチャレンジしています。

スタッフ採用サイト



採用パンフレット



医師採用サイト



人事評価とキャリア制度

PERSONNEL EVALUATION & CAREER SYSTEM

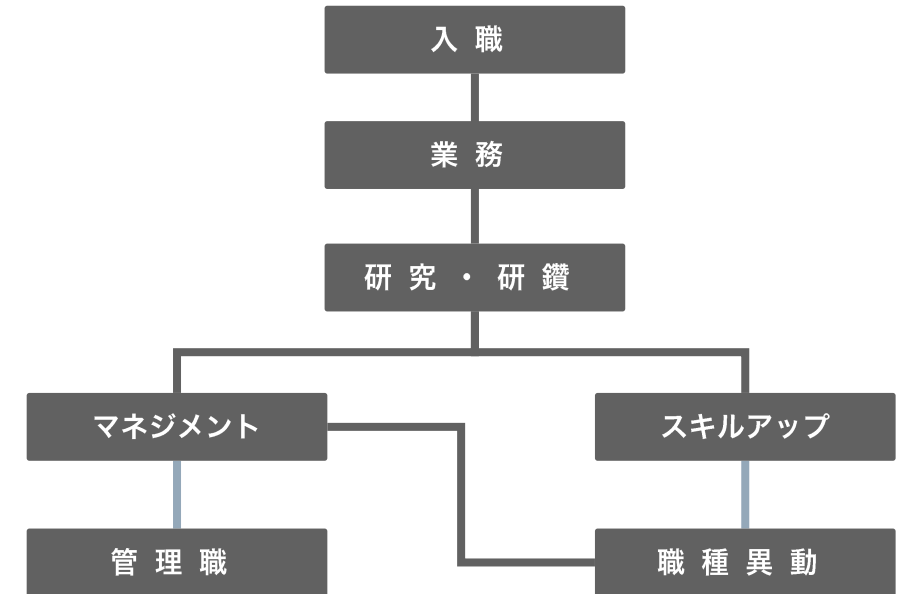
人事評価制度

- 法人理念と行動方針の浸透
 - 業務への意欲やチャレンジを評価に反映
- 法人の成長に合わせて制度を導入・修正して運用を行っています。



キャリア制度

当法人では一般的なキャリアステップだけではなく、やりたいことを叶えるためのキャリアパスも実績があります。医療事務から就労支援の支援員に。デイケアスタッフから外来スタッフへなど活躍の場を広げています。



頑張った人が評価される法人に。個人目標と部署目標があり、達成することで評価になります。

また、キャリアステップだけでなく、キャリアパスとして職種異動も実績があります。

院内カンファレンス

3rd FRIDAY CONFERENCE

2023年8月～2024年6月分

第28回 2023年8月18日

入院連携のコツ

つくば心療内科クリニック 院長 須藤真紀先生

第29回 2023年9月15日

診療報酬のポイント

医療事務 菊地

第30回 2023年10月20日

自己理解に努めて復職しようとしている女性のケース報告

心理士 木下

第31回 2023年11月17日

入院連携を要したケースの分析と課題

看護師 関根

第32回 2023年12月15日

感情予測と問題解決のためのシステムズトレーニング

東京経済大学 全学共通教育センター 准教授 寺島瞳先生

第33回 2024年1月19日

水戸メンタル駅前分院のデイケア紹介

作業療法士 二瓶 / 精神保健福祉士 藤井

第34回 2024年2月16日

就労移行支援の概要とケース報告

精神保健福祉士 蛭田

第35回 2024年3月15日

患者からのクレームとアンガーマネジメント

常磐大学人間科学部准教授 樫村正美先生

第36回 2024年4月19日

ブルームに通所し就職に至った女性のケース報告

心理士 新橋

第37回 2024年5月18日

向精神薬の一般的な処方に関して

水戸メンタルクリニック 院長 水谷洋介先生

第38回 2024年6月21日

水戸本院デイの現状と今後について

精神保健福祉士 谷津 / 作業療法士 渡邊

心理士・看護師などの職種での発表や、事業所毎の発表を行っています。
また、外部講師を招いて専門的なケースや新たな治療コンテンツの学びも得ています。

地域貢献

CONTRIBUTION TO THE COMMUNITY

病診連携会議

- 県立こころの医療センター主催
地域連携会議
- 筑波大学附属病院主催
地域連携会議
- 精神医療審査会 会議・調査

看護学校外部講師活動

- 外来看護講師
看護師：高尾慎二
- 精神科心理講師
心理士：岡田真ノ典
- 外来精神科医師講師
医師：高尾哲也

医療観察法

- ケア会議参加
- 連絡協議会参加
医師：齋藤直史
看護師：中郡美紀

心理実習生受け入れ

- 筑波大学心理学系大学院
- 茨城大学心理学系大学院
- 茨城県立医療大作業療法学科
- 常磐大学心理学系大学院
- 聖徳大学心理学科大学院

心理研修会開催

- WISC-V実施と集計を中心に
195名参加
- 事例検討会WAIS-IV WISC-V
106名参加
- 心理検査 解釈と支援
159名参加

医療法人イプシロンでは、地域医療サービスの向上のため様々な取り組みを行い参加しています。

2023年では、治験の参加、周産期メンタルヘルスのカンファレンスの開催、などを行いました。

2024年には新たに右記の活動に参加・開催しております。

トピックス 2024.4.26 令和6年度診療報酬改定説明会 開催

TOPICS

茨城県精神神経科診療所協会 主催 ONLINE SEMINAR

**令和6年度
診療報酬改定説明会**

2024.4.23(火) 19:00-20:00  無料ウェビナー

19:00-19:10 会長挨拶 茨城県精神神経科診療所協会 会長
医療法人イブシロン 理事長
高尾 哲也 先生

19:10-20:00 講演 吉富薬品株式会社 営業推進部 医療情報担当
西村 雅晴 先生

**精神科診療所に係る
令和6年度診療報酬改定について**

本会は、Zoom 配信のみで開催を予定しています。
参加には事前登録が必要となります。事前登録は下記のお申込みフォームよりお願いします。

お申し込みは
こちらから 

お申込みフォーム
<http://www.ibaseishin.com/form/>

参加または配信に関するお問合せ
茨城県精神神経科診療所協会 事務局 担当：加見 雄太 info@ibaseishin.com ☎029-245-0033

2024年4月23日（火）、オンラインにて令和6年度診療報酬改定説明会を開催しました。
この度、かなり多くの改定が行われる予定で、多くの茨城県内外から50名程の多くの方にご参加いただきました。
通院・在宅精神療法や医療DX、その他多職種連携の関連した改定が行われますが、非常に改定内容が現場に与えるショックが多い部分も多く、参加者の方からは非常に多くの質問があり、情報の共有やアップデートの助けになればと思います。

説明会情報

会 名：令和6年度診療報酬改定説明会

日 時：2024年4月26日（火）19:00～20:00

会 場：ライブ配信

報 告：<http://www.ibaseishin.com/news/articles/00007/index.html>

（茨城県精神神経科診療所協会ホームページ）



座長：茨城県精神神経科診療所協会 会長 / 医療法人イブシロン 理事長 高尾 哲也

精神科に係る令和6年度診療報酬改定について
田辺三菱製薬株式会社 精神科領域部 医療情報担当
西村 雅晴 先生

質疑応答・意見交換

トピックス 2024.6.1 もりや心療内科クリニック開院

TOPICS



守谷市は、首都圏から40km圏内に位置し、豊かな自然と都市機能を備えた茨城県の玄関口として発展している都市です。地元企業や商業施設が豊富で経済も活性化しており、若い世代の家族に人気の地域でもあります。人口増加傾向にあるこの街は、メンタルヘルスケアのニーズも高まることが予想されます。

そのようなニーズにお応えするため、医療法人イブシロンは、この度「もりや心療内科クリニック」を開院する運びとなりました。つくばエクスプレス守谷駅から徒歩1分に位置し、

働く世代が利用しやすい予約システムやキャッシュレス決済などを取り入れ、都市型の利便性の高いクリニックを目指しました。また、患者さんが相談しやすいクリニックを目指し、早期介入することで正しい対応や治療を速やかに行うことができるよう、こちらにお悩みを持つ方が気軽に受診できるクリニックにしたいと考えております。



メンタルヘルス事業は、地域の医療機関・専門機関、企業・団体様、日頃よりお世話になっている皆様との連携が必須と考えております。当法人の理念である「メンタルヘルス事業を通じて、地域No1の安心と信頼を得る人財成長する多機能型心療内科グループ」として精進していく所存ですので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス 2024.11.3 第72回茨城精神医学集談会 開催

TOPICS



2024年11月3日（日・祝）病診・病病連携をテーマに、第72回茨城県精神医学集談会を開催しました。今回は、現地開催となり茨城県医師会4F会議室を会場といたしました。

茨城県内70名程の多くの医師・医療職の方にご参加頂き、時間も延長しての学会となり、参加された方々の研鑽・実情の共有など有意義な会になりましたら望外の喜びです。

学会情報

学会名：第72回茨城県精神医学集談会

（第46回茨城医学会精神科分科会）

日 時：2024年11月3日（日・祝）10:25～15:40

会 場：茨城県医師会 4F会議室

報 告：<http://www.ibaseishin.com/news/articles/00004/index.html>（茨城県精神神経科診療所協会Webサイト）



一般演題

座長：茨城県精神神経科診療所協会 会長 / 医療法人イブシロン 理事長 高尾 哲也

- 01：「精神科領域における今後の作業療法士の在り方」
医療法人イブシロン つくば心療内科クリニック
坂場 泰斗
- 02：「茨城県の夜間・休日23条通報における自傷の特徴」
茨城県精神保健福祉センター
佐々木 恵美
- 03：「（症例報告） PCA（後部皮質萎縮症）を原因とした若年性認知症の一例」
志村大宮病院 心療内科 認知疾患医療センター1）
水戸医療センター 神経内科2）
○大里 晃弘1） 中原茉優1） 田代 裕一2）
- 04：「不思議の国のアリス症候群を認めた気分障害の一例」
茨城県立こころの医療センター
○五味 真帆子 水挽 貴至 関 勉 堀 孝文

- 05：「統合失調症と鑑別が困難な幻覚妄想状態を呈した自閉スペクトラム症の一例」
茨城県立医療大学 医科学センター1） ホスピタル坂東2）
茨城県立こころの医療センター3） 筑波大学4）
○井出 政行1） 野崎 海央2） 五味 真帆子3） 新井 哲明4）

- 06：「自死を希望し、精神科治療を拒否する咽頭がん患者の1例-自殺予防の彼岸を考える-」
筑波大学附属病院 精神医療・自殺対策連携センター1）
筑波大学附属病院 精神神経科2）
○太刀川 弘和1） 高橋 卓巳1） 2） 高村 佳幸1） 松尾 真裕子1）
大徳 さな子1） 翠川 晴彦1） 2） 新井 哲明2）

基調講演

「最新のガイドラインから学ぶ周産期メンタルヘルス」
座長：つくばねむりとこころのクリニック 院長 大久保 武人
演者：筑波大学 医学医療系 臨床医学域精神医学准教授 根本 清貴

シンポジウム

「茨城県の自殺未遂者の病診・病病連携について考える」
座長：茨城県立中央病院 精神科 部長 佐藤晋爾
座長：筑波大学附属病院 医学医療系 講師 田村 昌士

「茨城県における自殺の現状と対策について」
茨城県障害福祉課 副参事 堀 清美

「当院における自殺未遂者の連携について」
筑波メディカルセンター病院 救命救急センター副センター長 診療科長 新井 晶子
筑波メディカルセンター病院 医療福祉相談課 渡辺 陽子

「精神科病院における自殺未遂者の連携状況について」
医療法人社団有朋会 栗田病院 精神保健福祉士 荻原 貴之

「精神科診療所における自殺未遂者への取り組みについて」
医療法人南山会 柵町診療所 酒門診療所 理事長 大野 一樹

トピックス

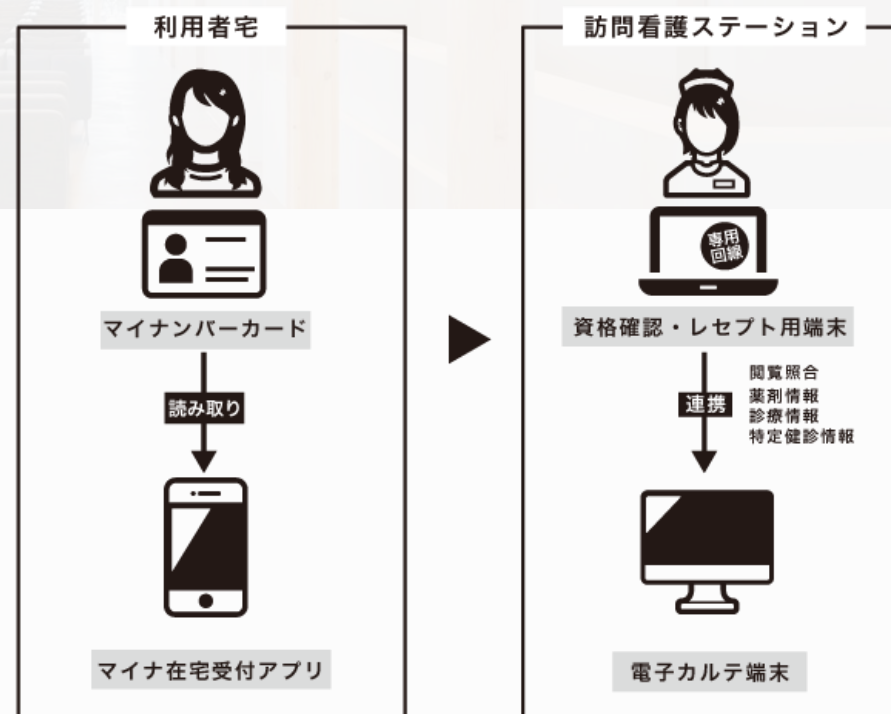
2024.12.01 訪問看護でもオンライン資格確認を開始

TOPICS



訪問看護ステーションでも運用が開始されました。訪問先の利用者宅でマイナンバーカードを読み込み、院内の端末にてカード情報を照会・閲覧し、電子カルテと連携する仕組みです。

保険証の発行が12月に停止となりますが利用者の利便性の確保と正確な医療情報を得て診療に活用するために、今後もマイナンバーカードの利用率向上に努めてまいります。



トピックス

2024.12.29 マイナンバーカード利用率向上

TOPICS



各クリニック外来やデイケアで導入されているオンライン資格確認の利用率向上を目指しています。地域や医療コンテンツで利用率も異なりますが徐々に利用率は徐々に向上しています。

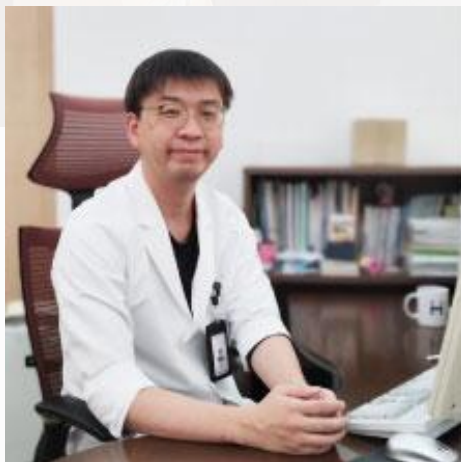
全国平均は13.9%であり、法人内クリニックは健闘している数値となっています。

院内での案内を強化しさらなる利用率向上を目指します。

事業所	2024.7	2024.12
水戸メンタルクリニック	15%	42%
水戸メンタル駅前分院	17%	43%
つくば心療内科クリニック	40%	55%
つくば心療内科クリニック分院	10%	19%※(9月)
もりや心療内科クリニック	24%	63%
北参道こころの診療所	8%	36%

院長インタビュー 院長からのことば「日々是好日」

INTERVIEW



水戸メンタル駅前分院
院長 齋藤伸明 先生

Q 精神科・心療内科の医師になった理由は？

医学部入学当初は部位別の疾患を診て治療していくのではなく、患者様全体を継続して診ていけるような医師を目指しておりました。医学を学び研鑽を積んでいる中で、患者様は様々な症状について苦しんでいるだけでなく、このような苦しみに加えて将来や家族の事などについて悩み、不安を抱えている姿を目の当たりにしていききました。悩みや不安に傾聴していくと、患者様を一人の人として、その人らしく生きていく事の大事さにも気付かされました。治療を提供して、患者様がその人らしさを大事にしたり、取り戻したりしていく事に一番関われる診療科として、精神科・心療内科を志しました。

Q 専門領域を教えてください。

初期研修を経て、茨城県立こころの医療センターで精神科医として勤務し、急性期から慢性期、思春期から老年期まで幅広く精神疾患に携わってきました。様々な疾患に対して対応する事が可能であり、メンタルヘルスの対応を得意としています。しかし、睡眠外来や認知症鑑別外来の経験も長く、クリニックでの外来も同時に行っていました。

たので、児童・成人・老年期といったあらゆる年代の心療内科・精神科領域、睡眠の問題について幅広く対応可能です。患者様は主治医や病院が変わる事に不安を抱きやすいと思いますが、幅広い疾患や年齢層に対応可能であることを活かして継続したフォローを患者様を提供していきたいと思っています。

Q 診療へのこだわりを教えてください。

患者様は様々な悩みを抱えて受診するに至ったと思います。その患者様だからこその悩みであり、その悩みがまた患者様のその人らしさを形作るのではないかと思います。したがって、ただ訴えを聴くだけでなく患者様の背景を共有させていただくことが、患者様や患者様のご家族様の要望に沿った適切な治療を結びつくと考えます。

このような治療を提供していけるよう日々、診察にあたっていきたいと思っています。

Q 先生が目指すクリニックの在り方とは？

現代は様々な事によって生活を変えざるをえない場合があり、変化に合わせてうまく治療も合わせていけるようクリニック全体で共有していきたいと思っています。患者様が回復した後も、新たな変化に悩まされた時、「また、あそこに相談に行こう」と思って頂けるようなクリニックを目指して行きたいと思っています。

Thanks

2025.04 ORIENTATION

